シラチャ校だより

泰日協会学校シラチャ校
2024.1.31

タイでしかできない豊かな学びの実現　中学部修学旅行

シラチャ日本人学校　校長　藤枝茂雄

2024 年 1 月 10 日（水）から 12 日（金）にかけて、シラチャ校第８学年（中学部第２学年）の 26 名が、修学旅行でタイ北部のチェンマイとチェンライを訪ねた。この修学旅行では、本校の校外学習で目指している「日本ではできない海外での豊かな学び」がよく実現されていた。

学習については、一学期から行ってきた「日本とタイの地域おこし・・・日本の郷土とタイを結びつけるアンテナショップ構想」などとも関連付けて、テーマを「北部山岳民族の伝統と現代の生活」「象の酷使と保護の実態」「ケシ（アヘンの原料）栽培依存経済からの脱却を目指した王室主導プロジェクト」の三つに焦点化し、二泊三日の行程をそれまで積み重ねてきた学びをさらに深めるフィールドワーク的な場として設定した。

１．「北部山岳民族の伝統と現代の生活」に関するフィールドワーク

焦点化した学びを大切にするために、一般的なチェンマイ市内観光などは一切行わず、一日目には、大型バスでは乗り付けることができない山岳民族モン族の住むドイプイ村までソンテオ（荷台式バン）に分乗して行き、民族衣装を着て村の博物館を訪ねたり、モン族の女性に事前に申し込んだインタビューを実施したりした。（写真右上）

ドイプイ村では、観光貸衣装店を営むモン族の女性が生徒のインタビューのためにわざわざ平服から民族衣装に着替えて、より一層モン族としての雰囲気を醸し出しながら質問に答えてくださった（写真右下）。インタビューでは次のような質疑応答がなされたが、生徒たちは真剣にメモして、後に続くシラチャ校での新たな学びに備えていた。

Q1：民族衣装が完成するまでに、何人の人がどれくらいの時間をかけるのか？

A1：民族衣装の上下を作るには、二人掛かりで約一年間が必要だ。

Q2：いつこれらの衣装は着るのか。結婚式には特別な衣装があるのか？

A2：昔は、農作業の時でもすべて民族衣装を着用していて普段着兼作業着であった。しかし、今は、普段の生活は一般のタイ人と同様の洋式の服装で暮らしている。結婚式に特別にデザインされた衣装があるわけではないが、普段よりもたくさんの装飾を衣装にこらして新郎新婦を祝っている。

Q3：山の奥地での生活だが、経済面についてはどうか？
A3：私たちが子どもの頃は、完全に自給自足が成り立っていて、まったくお金などは必要なかったが、今日では、都市部の人たちとの接点が増えるにつれてお金というものが必要になってきている。だから、私たちの伝統や文化を観光資源として現金収入を得るようにしている。

タイに住む山岳民族は、固有の文字を持たないため、民族衣装に用いる独特のデザインの中に、民族のもともとの出身地である中国雲南省あたりからの移住の物語や昔からの伝承の内容を含む模様が織り込まれている。これらの知識を旅行前にオンライン学習で大学の専門家から学んでいたことも、現地での生徒達の知的好奇心を一層刺激し、これらの学びによってさらに新しい疑問や探究したい事柄などが出てきたようだった。

２．「象の酷使と保護の実態」に関する学習

修学旅行二日目の 1 月 11 日（木）には、前日のモン族の住むドイプイ村と同様に、大型バスからソンテオに乗り換えて象の保護施設「エレファント・ネーチャー・パーク」を訪れた。

この施設には、パタヤーでの観光客向けの象のショーでカメラのフラッシュを浴びせられ続けたことにより、目を痛めて失明寸前となった 30 才（人間でいうと 40 才くらいの年齢）の象や、背中に客を乗せる仕事を長期間行ったために背骨が変形してしまった象などが保護されていた。

施設の方の説明や、私たちとの Q&A の中にも興味深いものがいくつかあった。

Q1：象の寿命はどれくらいか？
A1：平均 60 才くらいとされていたが、最近では 70 才くらいに伸びつつある。この施設では 104 才まで生きた象もいた。

Q2：象は人間の言葉をどれくらい理解するのか？
A2：象は、生まれたときから山岳民族の象使いと一緒に暮らすので、生後一年の象はすでに山岳民族の話す言葉を理解している。ただし、山岳民族は文字を持たないので、彼ら以外の人が象使いの文化を継承することは極めて困難である。
現在はチーク材の伐採が禁止されている。そのため、伐採されたチーク材を山から運び出す役割を担ってきた象が「失業状態」となり、それに連動して象使いの必要性も減りつつあることから、象使いの後継者問題も出てきている。その対策として、地域によっては、象使いを育成し、彼らの文化を受け継ぐための専門学校も開設されている。

Q3：象が取引されるときの値段はどのくらいか？
A3：象の所有はオーナー制で、若い象ほど売買の価格は高い。これまでには、一頭 4,000 万円の値が付いた象がいた。象の取引価格は家や車が買えるくらい高いものであることが一般的である。

Q4：どうしてここの象は茶色をしているのか？
A4：象は暑さがあまり好きではないうえに、皮膚がデリケートなので、自ら土を身体にかけて「日焼け止め」と「虫予防」をしている。そのため、全身に赤土がかかっているので皮膚が茶色のように見えている。土を落とすともちろん本来の黒っぽい皮膚の色をしている。土は象にとっておなかの状態を整える薬にもなる。おなかの状態が良くないときには、象は赤土を少量食べることで薬のような効果を得て

調子を整えるという習性がある。

Q5：象の糞(ふん)はどう処理するのか、家の壁に使ったりはしないのか？

A5：発酵させて有機肥料にすることが多い。象の糞は、ほとんど臭いもなく繊維質が大変多い（写真右）。そのため、糞に含まれる繊維を漉(す)いて「紙」を作ることもある。水牛の糞は家の壁土として使われることもあるが、象の糞を壁土として用いることはない。

Q6：象の視力や聴力など、感覚器官の能力はどれくらいか？

A6：象は、もともと視力がそれほどよくないうえ、目の位置の構造から前方と後方はよく見えない。そのため、象の正面と真後ろに立つことは大変危険である。視野の広い横に立つべきだ。前方の障害物を判断するセンサーの役割は鼻が果たしている。また、象の耳には穴がない。レーダーのように耳全体で音の波長を感知している。

最も高性能な器官は鼻で、嗅覚はとても鋭い。先ほど向こうにいる子象を連れた母親象が吠えたのも、あなたたちを含む知らない人の臭いを遠くから感知して「子どもの象がいるからこちらに近づくな」という警告を発したのだ。発情期になって象のカップルが成立するときも、近づいてくるオスの鼻から出る臭いをメスが嗅ぎ分けることで、「相性の良さ」を判断し、プロポーズを受けるか受けないかをメスが決める。

象の身体に関するその他の特長として、象の足の裏の内部がクッション状の構造になっていることがある。そのため、3 トンを超える巨体をもつ象でも、歩いて近づいてくるときの足音が極めて小さいことに気付いてほしい。

Q7：象が死んだらどうするのか。土葬にするのか火葬にするのか？

A7：神聖な動物なので土葬である。象使い達は、自分の飼っていた象が死んだときには、遺体は重くて動かせないので、その場に穴を掘って埋めていた。墓とは違うが、その場に象を埋めたという象の名前を記した目印を残すことが一般的である。

三日目に訪ねたチェンライのアヘン博物館では、アヘンの原料であるケシ栽培に依存した生活を、他の商品作物の栽培に転化することで改善したロイヤル・プロジェクトについて学習した。

生徒たちは、修学旅行での学びをさらに個別の探究テーマと結び付けて、このあとも総合的な学習の時間の学びを進めていくわけだが、これらのタイでの学習をもとにして、グローバルな視点で今日の社会に存在する様々な問題を考察して改善行動に転換できる生徒に育ってほしいと思う。

高等学校では 2022 年度から「総合的な探究の時間」が導入されている。シラチャ校では、卒業後の生徒たちの高校での学びの連続性や必要なスキル、さらには、語学力の習得も意識しながら、さらに個性豊かな総合的な学習の時間の学びを追求していきたいと考えている。

全力で楽しんだジャンタブリ臨海学校

「ゴールどこ！？」「あとどのくらい！？」。青々と広がる海の真ん中から、息を切らした子どもたちの声が水しぶきと共に聞こえてきます。先の見えないゴールに不安になりながらも必死に泳ぐ子どもたち。しかし、決して諦めることなく、自分たちが設定した２００メートルと５００メートルのゴールを目指して、最後まで泳ぎ切ることができました。

１２月７日から８日にかけて、５年生はジャンタブリ臨海学校に行ってきました。実行委員を中心に考えたスローガン「SHINING　SWIM　POWER　ぱ：ぱぱっと切り替え　わ：輪になろう　あ：あきらめない」を、子どもたちは何度も声に出し、確認し合いながら活動に取り組みました。

マーガングルアイというタイの昔ながらのおもちゃを作って遊んだり、ビーチレクで自分たちの想像したものを思い思いに砂で表現したり、夜はキャンプファイヤーで聖火を囲んで思いっ切り踊ったりして、ここでしかできないことを全力で楽しみました。そして、冒頭でお伝えした遠泳では、長い間、水泳の授業で一生懸命準備してきた成果をしっかりと、精一杯発揮することができました。ゴールした時の子どもたちは、皆、達成感に満ち溢れ、最高の笑顔を輝かせていました。

あっという間の２日間でしたが、大切なことをたくさん学ぶことができた、かけがえのない経験だったと思います。ぜひ、今後の生活に活かし、更にたくましく成長していってくれることを願っています。「ぱわあ！！」

文責：第５学年主任　佐原　晃祐

7年生 「レムチャバン港校外学習」を終えて

１月 17 日（水）午前、日本郵船（NYK）の皆様のご協力を得て、レムチャバン港での体験学習を行ってきました。本年度は、貴重な講話をはじめ、巨大な自動車運搬船に乗船し、船内の見学、および自動車が積み込まれる様子を見学することができました。

当初は１月 18 日であった見学の予定を、日本郵船の受け入れ担当の方からのご連絡により大型船の入港が確実な 17 日に変更したことで、操舵室やデッキから整然と並ぶ数えきれない数の自動車を目の当たりにすることができました。今回の体験も、タイと日本のつながりを改めて学ぶよい機会となりました。

実際に現地へ足を運び「体験することによって学ぶ」――　このことは、何物にもかえがたい学習となり、生徒の成長に大いに価値ある取組になったと思います。タイにある日系の企業の現場を自分の目で見て体験する、在外教育施設ならではの学びの場であると改めて感じました。

よりよい日程への変更をご提案くださり、丁寧に生徒たちに説明や案内をしてくださった日本郵船の皆様に心から感謝を申し上げます。

文責：第７学年主任　成岡　浩

２月の行事予定

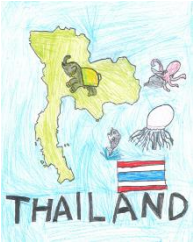
日　曜	児童・生徒の予定	バス時刻	
1日（木）	学級懇談会（2，5年）　放課後指導2年	14:20 P1-2 15:25 P3-6　M1-3	
2日（金）	学級懇談会（1，4年）	14:20 P1-2 15:25 P3-6　M1-3	
3日（土）	土曜登校日（授業参観日）	11:25 P1-6　M1-3	★
4日（日）			
5日（月）	全校5時間授業	14:20 P1-6　M1-3	★
6日（火）	第4回定期考査　放課後指導1年	14:20 P1　M1-3 15:25 P2-6	★
7日（水）	購買（注文票配布日）　第4回定期考査	14:20 P1 15:25 P2-6　M1-3	
8日（木）	購買（注文票提出日）　放課後指導2年	14:20 P1-2 15:25 P3-6　M1-3	
9日（金）	【小：学級だより】	14:20 P1-2 15:25 P3-6　M1-3	
10日（土）			
11日（日）			
12日（月）	小クラブ　放課後指導3年	14:20 P1-3 15:25 P4-6　M1-3	
13日（火）	放課後指導1年	14:20 P1 15:25 P2-6　M1-3	
14日（水）		14:20 P1 15:25 P2-6　M1-3	
15日（木）	進学ガイダンス（中1，2保護者対象）　放課後指導2年	14:20 P1-2 15:25 P3-6　M1-3	
16日（金）	音楽集会　アクティブタイム	14:20 P1-2 15:25 P3-6　M1-3	
17日（土）			
18日（日）			
19日（月）	小委員会　放課後指導3年	14:20 P1-3 15:25 P4-6　M1-3	
20日（火）	放課後指導1年	14:20 P1 15:25 P2-6　M1-3	
21日（水）	購買（注文票配布日）　全校縦割り班（弁当&遊び）	14:20 P1 15:25 P2-6　M1-3	
22日（木）	購買（注文票提出日）　放課後指導2年	14:20 P1-2 15:25 P3-6　M1-3	
23日（金）	6年生を送る会　3学期水泳指導終了 【小：学級だより】	14:20 P1-2 15:25 P3-6　M1-3	
24日（土）	マーカブーチャ		
25日（日）			
26日（月）	マーカブーチャ振替		
27日（火）	中委員会	14:20 P1 15:25 P2-6　M1-3	
28日（水）	中卒業式予行	14:20 P1 15:25 P2-6　M1-3	
29日（木）	【学年だより最終号】【学校だより】	14:20 P1-2 15:25 P3-6　M1-3	

★は特別バスです。通常の下校バスと時刻が違うときについています。

各種証明書発行

例年、年度末に申し込みが殺到します。また、発行に要する期間は通常で原則１週間(休業日を含まない)ですが、春休みになると数週間お待ちいただくこともあります。申し込みを希望される方は、２月中に本校 HP よりダウンロードを行い、必要事項を記入し、担任へ提出されるようお願い申し上げます。

【主な証明書】
□在学証明書　□成績証明書　□卒業見込み証明書
□卒業証明書　□入学証明書　□修了証明書



３学期授業参観

２月３日（土）は、今年度最後の授業参観です。お子様の学校での様子を、ぜひ、ご覧下さい。また、１月３０日（火）からは、学級懇談会が実施されています。詳細につきましては、学校からのお知らせに配信した案内を再度ご確認下さい。

第４回　定期考査

６日（火）７日（水）は、７、８年生を対象に、今年度最後の定期考査が行われます。今学習している内容だけでなく、この１年間で学習した内容も範囲となっている教科もあります。新しい学年になる前に、今年度学習した内容を復習できるよい機会ですね。

６年生を送る会

２３日（金）は、小学部でこれまでお世話になった６年生に向けて、送る会を開催します。６年生はもちろんのこと、みんなにとって思い出に残る素敵な会になるとよいですね。

進学ガイダンス

１５日（木）は、７、８年生保護者を対象とした進学ガイダンスが行われます。お子様の将来に関わる大切な内容となりますので、ぜひ、ご参加下さい。詳細につきましては、進路関係トピックに配信した案内を再度ご確認下さい。事前のアンケートも実施していますので、よろしくお願いします。

早期一時帰国者・退学者の通知表の作成

最終登校日	一時帰国	退　学
２月６日（火）以前	○通知表を作成します。 ○出欠の記録、所見、特活の記録等を記入します。 ○評価評定はしません。 ○３月８日(金)以降に、児童生徒または保護者にお渡しします。 ※受け取りについては、担任とご相談ください。	○通知表は作成しません。 ○口頭で学習状況等をお伝えします。
２月７日（水）以降	○通知表を作成します。 ○上記の内容に追加し、評価できる項目を記入します。	
	○３月８日(金)以降に、児童生徒または保護者にお渡しします。 ※受け取りについては、担任と相談ください。	○３月８日(金)以降に郵送します。帰国後の住所と電話番号をお伝えください。 ※郵送方法については、担任とご相談ください。

今年度離任教員

本年度末をもちまして１３名の教員がシラチャ校を去ることになりましたので、お知らせいたします。

１年学年主任：三浦　弘子　　１年３組担任：佐藤　治
２年３組担任：川又　万希子　　３年１組担任：石川　美沙
３年３組担任：植木　将太　　４年学年主任：牧野　壮平
３年２組担任：古賀　悠作　　５年副学年主任：岩本　衣里
５年２組担任：佐藤　ななみ　　中学部主任：村山　祐亮
７年１組担任：加治木　亮子　　９年１組担任：岸　美乃莉
NET: Kelly Nelson(ケリー・ネルソン)